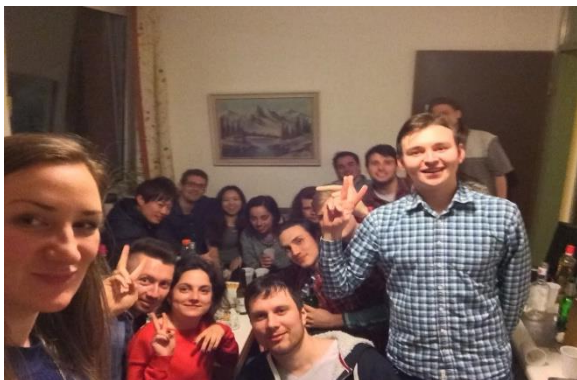


## 経営学部派遣学生 留学体験記-1

派遣先：オスナブリュック大学

派遣期間：2015年10月～2016年7月 経営学科2年次秋に出発



### 1. なぜオスナブリュック大学に交換留学しようと思ったか？

正直なところでは、特別ドイツの大学に行きたかったわけではなく、むしろ英語圏の大学に留学したいと思っていました。しかし、iBTの点数やその受験料との兼ね合いから、第二外国語としてドイツ語を履修していたので、こちらの大学を選びました。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として

取り組んだこと

私の場合では、元々英語圏に留学したかったということもあり、ドイツ語よりも英語を重点的に勉強していました。また英語の中でも特に、コミュニケーションやディスカッションなどで必要とされる生きた英語を中心に学んでいました。具体的には、留学生支援団体105に所属し、留学生とかかわることで英語を使う機会を増やしたり、自分で短期の語学研修に行ったり、YNUに來ている留学生のチューターをやったりと積極的に語学の勉強には取り組んでいました。もちろん、ドイツ語も同時並行で学びました。個人的に最も活用していたのはYouTubeでした。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと

いろいろな視点や立場でものを考えてみようと思えるようになったことです。現在の日本で異なる文化背景を持つ人に会うことは、昔に比べて明らかに増えていると言えます。しかし、実際に移民を受け入れている諸外国と比較するとその数は圧倒的に少ないため、異文化に接触して視野を広げたり、異文化理解能力を高めることは非常に難しいというのが現状です。その意味において、異文化を受け入れる能力・様々な視点でものを見る力を、つけられたことが私自身一番うれしかったことです。

### 4. 一番辛かったこと：

自分の語学力が低いことで、周囲に相手にされていないなと感じたときが一番つらかったです。政治的な話や宗教的な話など、予備知識が乏しい上に上級レベルの語彙が頻繁に使用される会話では中々発言できませんでした。しかし、そのような出来事により「もっと英語・ドイツ語上手くなってやる」という意欲を持つことができたのも事実ですので、私自身は良い経験になったと思っています。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-2

派遣先：サンディエゴ州立大学

派遣期間：2016年8月から12月 国際経営学科 2年次夏に出発



### 1. なぜサンディエゴ州立大学に交換留学しようと思ったか？

高校の時に一度留学し、その時に英語を学ぶだけでなく英語で経営を学びたいと考えました。そして、カリフォルニアはたくさんの人種や宗教の人がいると知り、考え方や視野をさらに広げるにはとても良い環境だと思ったからです。またサンディエゴ州立大学は国際経営や経営学でとても有名で魅力を感じたからです。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

TOEFLで点数をとるために単語の参考書を買って勉強しました。国際交流などのクラブに属しておらず、毎日英語に触れられる環境を作ることは難しかったので、週に二回ある英語の授業に真剣に取り組みました。後は英語を忘れないように友人と電話をしたりし、英語を忘れないようにしました。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

アメリカ人だけでなく、たくさんの国の人と知り合うことができたことです。また仲良かった友達は年上が多く、進路や考え方についてなどたくさんの刺激を受けられたことをとてもうれしく思っています。

### 4. 一番辛かったこと：

私が受けた授業のほとんどは、毎週のように課題が出され、小テストがありました。範囲は授業でのスライドだけでなく、教科書からも出題されました。そのため自分で教科書を読み理解なければいけないことがとても多く大変に思いました。初めの方はペースがつかめず少しつらいと感じました。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-3

派遣先：サンディエゴ州立大学 (USA)

派遣期間：2016年8月～12月 国際経営学科3年次夏に出発



1. なぜサンディエゴ州立大学に交換留学しようと思ったか？

英語が第一言語であるアメリカで実際の英語に触れながら勉強したかったというのが一番の理由です。その中でもサンディエゴに決めたのは、色々なバックグラウンドを持った人がいて、様々な文化が入り混じった場所に行ってみたかったからです。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと。

TOEFL80点を取ることが必要条件であったので、それを目標に勉強していました。まず、大学のTOEFL講座に夏休み参加して、それから、そのとき使った教材などをもとに勉強しなおし、TOEFLを受験しました。そのほかにも、大学で海外の大学からの交換留学生のチューターをしていたので、その学生とも仲良くしてもらって英語を使ったり、一緒に海外に旅行をしたりと、留学前から英語を使う機会はほかの学生よりは比較的多かったと思います。また、私は所属していませんでしたが、105という海外からの交換留学生の支援団体のイベントなどにも参加し、そこで英語には触れるようにしていました。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと。

交換留学先でできた友人たちと色々なところに行くことが出来たことです。今でも連絡を取り続けていて、またいつか会おうという話をしています。卒業後にはなるとは思いますが、お互いの国に訪れる予定も立てており、世界各地に友人が出来たことはとてもうれしかったです。また、アメリカの文化に触れられたことはとても楽しかったです。サンクスギビングやクリスマスにアメリカ人の友人の家に行き、日本とは違う休日を楽しみました。

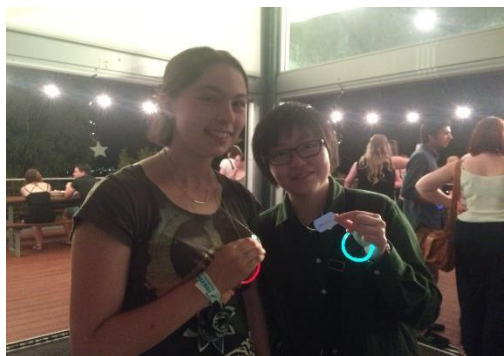
4. 一番辛かったこと。

風邪をひいてしまったときに、食事と薬が日本とは違うので、少しつらかったです。英語面は、最初は躊躇をしてしまうことが多く、どうしようと思うこともありましたが、生活に慣れていくと同時に自分の伝えたい事を伝えることもできるようになって、楽しくなっていました。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-4

派遣先：フリンダース大学(オーストラリア)

派遣期間：2016年2月～2016年7月 国際経営学科3年次春に出発



1. なぜフリンダース大学に交換留学しようと思ったか？理由は2つあります。まず、せっかくの機会なので、できるだけ多くの人と異文化コミュニケーションを取りたいと思い、多民族国家であるオーストラリアを選びました。そして、アデレードの治安が良く、物価も安いという所に魅力を感じ、最終的にフリンダース大学に決めました。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

もともと英語のリスニングが苦手で、最初に TOEFL の勉強を始めた時は、まったく聞き取れませんでした。そこで、英語に耳を慣らすため、ディクテーションの練習を行いました。それは聞き取れる所までできるだけ一字一句を記録し、どうしても聞き取れない所はトランスクリプトを参照するという練習です。そのように、繰り返して練習しているうちに、少しずつ聞き取れるようになりました。また、語学試験が終わった後、BBC ニュースを聞いたり、海外の映画やドラマを見たりしていました。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと

性格が少し明るくなったことです。留学に行く前は、とても激しい人見知りで、初対面の人に会う時、いつも緊張しすぎて言葉が出ません。留学先で様々な人と出会ったおかげで、人とコミュニケーションを取ることに少し慣れました。また、現地の人は人とのコミュニケーションが好きで、たとえば、買い物でお会計する時に店員さんと簡単な世間話をするというのが一般的です。郷に入っては郷に従え。最初は抵抗感がありましたが、何度か実践しているうちに、人と会話するのが楽しいと思い始めました。今は初対面の人に対し、積極的に自ら話しかけに行くことができるようになりました。

### 4. 一番辛かったこと

授業についていくのが大変でした。まず、オーストラリアは移民大国なので、みんなの出身地がバラバラで、各国の英語のアクセントになかなか慣れませんでした。そして、授業でのディスカッションが多く、最初の頃、緊張のあまり全然話せませんでした。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-5

派遣先：リエージュ州大学校（ベルギー）

派遣期間：2016年9月～2017年2月



### 1. なぜリエージュ州大学校に交換留学しようと思ったか？

ヨーロッパの中心に位置するベルギーは多民族国家であり、公用語もフラマン語（オランダ語）、フランス語、ドイツ語と地域によって分かれています。そのため、留学を通じて異文化を学びたいと思っていた私にとってベルギーへの留学は最適だと考えまし

た。またリエージュに住んでいる日本人自体少なく（学校で日本人は私だけでした）、日本語に頼ることができない状態が自分の成長につながると思い、リエージュ州大学校への留学を決めました。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

一年次の春休みに大学で開かれる TOEFL 対策講座を受講しました。Speaking, Writing の勉強はきちんとチェックしてもらうことも必要だと思うので、受講してよかったと思います。

また、二年次の春休みにはポートランド州立大学への短期研修プログラムに参加しました。1 か月間のホームステイを通じて海外での生活の具体的なイメージができました。また、海外の大学での授業とはどのようなものか知ることができ、自分が留学した時に役立つ経験となったと思います。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

親友ができたことと、たくさんの人と外国語でコミュニケーションをとれるようになったことです。親友になった子とは、よく寮の部屋で何時間もしゃべったり、一緒に旅行をしたりしました。言葉も文化も違う子とこんなにも仲良くなることができるとは思っていなかったのが嬉しかったです。また、英語やフランス語を使ってバスで隣になった人や、空港の両替カウンターの人など色々な人と何気ない会話が気軽にできるようになったことは自分の語学力の成長を感じることができて嬉しかったです。

### 4. 一番辛かったこと：

最初の頃は同じ国の学生同士固まって話していたことが多かったのが寂しさは感じていましたが、つたない英語でも笑顔で話しかけることを心掛けることで話の輪の中に入ることができるようになりました。